

陣中誌

自昭和二十年一月一日  
至昭和二十一年一月三十一日

近衛軍第九中隊



22925

月一日

晴

高嶺

運撃隊第一大隊命令(運作命令第一〇号)

一 敵情 聞 敵情 報告 以テ示セル如シ

二 大隊 直ニ 攻撃 準備ニ 移行セトス

三 大隊 直ニ 攻撃 準備ニ 移行スベシ

四 運撃隊 第一大隊 命令(運作命令第一〇号)

一〇三。 敵情 報告 解除

二 各隊 直ニ 攻撃 準備ニ 移行スベシ

三 運撃隊 第一大隊 命令(運作命令第一〇号)

四 各隊 直ニ 攻撃 準備ニ 移行スベシ

運撃隊 命令

同 番士官

同 下士官

同 兵

村上 准尉

高野 伍長

松野 上等兵





主力直に加算

陣地ニ移動スル

細部ニ別ニ指示ス

大隊観測班ヲ加算 大隊観測班ニ至リ村

直監視ニ任ス

大隊本部 砲兵司

大隊本部 砲兵司

大隊本部 砲兵司

大隊本部 砲兵司

大隊本部 砲兵司

大隊本部 砲兵司

大隊本部 砲兵司

二大隊ニ内号ヲ戦備態勢ニ移行セントス  
三各隊ニ内号ヲ戦備態勢ニ移行スルニ  
唯所要ノ人員ヲ附シ戦闘資材ノ積算陣地ニ  
残置スル

四中川路少尉、前頭人員ヲ區署ニ各隊戦闘資  
料監視任命ス

五前頭人員ヲ前日ニ同シ

六小川軍曹

七安原上等兵

八石屋一等兵

九芝野一等兵

十中島一等兵

十一九三〇年龍巻警報發令セラル

十二隊員ニ命令セラル

一月四日  
木曜日  
曇時多雨  
高嶺



二 移入  
 一 二〇五空襲警報解除  
 中隊の迫二作命令乙号一四号の基干丙号戦備態  
 勢の移行  
 加勢陣地へ移動、中隊の右口兵長以下古名ヲ  
 残す也、亦余の高嶺へ歸隊ス  
 高嶺第一一等兵A三三三、十ノ菊華酒庄、タノ第  
 二四師團第一師成病院一ノ院ヨリ  
 本口へ向 將校三 准一凡 兵一一八  
 馬匹 戦馬 九頭  
 迫撃第一第二大隊命令(迫二作命令乙第一五号)  
 一 敵機種不明機一機ヲ對基干(一五〇度四〇キ  
 口ニ發見ス  
 〇九五五五空襲警報發後令セリ

二 大隊の直ニシテ、戦備態勢ニ移行セントス  
 三 各隊の速口ニシテ、戦備態勢ニ移行スルニ  
 四 對空監視哨ニシテ、戦備態勢ニ編成ニ基キ服務セ  
 ンル  
 迫撃第一第二大隊命令(迫二作命令乙第一六号)  
 一 一〇〇空襲警報解除セリ  
 二 各隊の丙号戦備態勢ニ移行スルニ  
 三 對空監視哨ニ當テ、間乙号戦備態勢ニ編成ニ依リ  
 服務セリ  
 迫撃第一第二大隊命令(迫二作命令乙第一七号)  
 一 敵機種不明機一機ヲ對基干(一五〇度四〇キ)  
 口ニ發見ス  
 二 大隊の直ニシテ、戦備態勢ニ移行セントス  
 三 各隊の速口ニシテ、戦備態勢ニ移行スルニ  
 四 對空監視哨ニシテ、戦備態勢ニ編成ニ基キ服務セ  
 ンル  
 迫撃第一第二大隊命令(迫二作命令乙第一八号)  
 一 一〇〇空襲警報解除セリ  
 二 各隊の丙号戦備態勢ニ移行スルニ  
 三 對空監視哨ニ當テ、間乙号戦備態勢ニ編成ニ依リ  
 服務セリ  
 迫撃第一第二大隊命令(迫二作命令乙第一九号)  
 一 一〇〇空襲警報解除セリ  
 二 各隊の丙号戦備態勢ニ移行スルニ  
 三 對空監視哨ニ當テ、間乙号戦備態勢ニ編成ニ依リ  
 服務セリ



續通志卷九十九

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部

禮部





一月六日  
土曜日  
高嶺

馬匹

號馬

九頭

追撃隊第一二大隊命令(通三係命甲第一二号)  
 一、各隊、追撃隊第一二大隊、其第一陣地構築ハ  
 爲シ、其第一陣地構築ハ、  
 大隊本部、位置、  
 三、各隊第一部隊、日直將校(露宮日直將校兼教務)及  
 下士、各隊、各隊、長以下四名、対立  
 監視哨ヲ、中隊主力、所在地ニ、立哨、  
 將校之ヲ、指揮スベシ  
 四、各隊ハ、隊間位置ヲ、選定スル要圖ヲ、以テ、  
 追撃隊本部ニ、報告スベシ  
 五、余ハ、大隊本部ニ、在リ  
 追撃隊第三大隊命令(通三係命乙第十七号)

本隊... 撤收スベシ  
日直... 撤收スベシ

討空監視哨  
同 下士官  
村上准尉  
小原軍曹  
平松上等兵  
明奈一等兵  
中島一等兵  
中井一等兵

中隊... 第九号... 原嘉  
陣地... 出... 行程... 小隊... 全員... 甲第一二

号ニ基キ小隊ニ疎開露営準備ヲナシ速カニ  
精築器材ヲ整備シ了リ明日ヨリ陣地精  
築作業ニ備ヘ中隊小隊到着ト同時ニ宿  
営間ノ内務ヲ別紙内務ヲ暫定規定ニ依リ實  
施ス

陣地精築参加人員別紙編成表ノ通り  
一三二。野口少尉及戦務分隊長並観測係小川  
軍曹ニ陣地偵察ヲ行ハシ露営地出發一七。〇  
歸隊ス

一三四。丙号戦備解除中隊下号戦備ニ移行ス

...



宿營間部隊内務暫定規定  
軍隊内務令依此外左各項規定

一 日直勤務

甲 直將校

日直下士官

二 交代時刻

〇九〇〇

定夜 事務室

三 對空監視哨

編成

司令

兵長 若人上等兵

兵

交代時刻

〇九〇〇

服裝

軍裝 背負袋 除

四 起居宿儀

舍内於起床後及夕食時限於就寢迄翌日禁止

但患者及休務日其他特殊隊長許可セラレタル場合ハ此限

ニアラス

對空監視哨下番者ハ當日一三〇〇マテ就寢スルコトヲ得  
五日課時限ヲ左ノ通ニ定ム

起床点呼 〇六三〇

朝食 〇七〇〇

診断時刻 〇九〇〇

晝食 一一〇〇

夕食 一八〇〇

日夕点呼 一九〇〇

消燈 二〇〇〇

六警報ニ對スル處置

一警報ニ對シテ 全營軍裝準備、上空内ニ於テ待機

二空襲警報 軍裝ニテ(背負袋持テ)第一警急集合所

ニ集合スヘシ尙猶豫難キ場合ハ分隊毎ニ第一警急ニ集合所ニ待避スルモノトス

七公用ノ外一般ニ外出ヲ禁ズ但特ニ其ノ要ル者ハ隊長ノ許可ヲ受クヘシ

八便所洗面所ノ使用ニ便シニハ特ニ清潔ヲ旨トスヘシ  
九喫煙ハ必ズ吸殻入リノ場所ニ於テ爲シ步行禁煙ヲ一行スヘシ

十書翰買物等地方人ニ依頼スルコトヲ禁ズ  
十一衛生特ニ生水ノ飲用ヲ禁ズ





格納 庫	指 標	野戰陣地		名 稱 區 分
		交通壕	被掩体	
邊壕 坑道	規則 坑道	交通壕 坑道	被掩体 無掩蓋	形 成 量
2	1	12	13	一個當 量
8M	35M	260M	12	出 來
/	8.5M	55M	12	高
/	26.5M	205M	/	未 完 成
/	23.5%	25%	100%	率

出來率ハ完成率ヲ示ス

野戰陣地構築進捗表 (二月七日現在)

要

第一連地構築進捗状況別紙ノ通り  
本日人員 將校三 准下九 兵一七

五〇式 砲隊鏡  
九三式 砲隊鏡

本日大隊長三司日 左記 兵器 受領ス

野戰陣地構築進捗状況別紙ノ通り  
〇七三〇 野戰砲隊鏡 砲隊鏡ノ通り  
野戰陣地構築進捗状況別紙ノ通り  
本日大隊長三司日 左記 兵器 受領ス

中隊ノ野戰陣地構築作業計畫ニ依リ作業  
ノ開始 野戰陣地ノ構築ニ二二ノ作業ノ意ノ如ク進捗  
シ今更ニ全中ノノノ第一日陣地構築ニ進捗  
ス

野戰陣地構築進捗状況別紙ノ通り  
〇七三〇 野戰砲隊鏡 砲隊鏡ノ通り  
野戰陣地構築進捗状況別紙ノ通り  
本日大隊長三司日 左記 兵器 受領ス

野戰陣地構築進捗状況別紙ノ通り  
〇七三〇 野戰砲隊鏡 砲隊鏡ノ通り  
野戰陣地構築進捗状況別紙ノ通り  
本日大隊長三司日 左記 兵器 受領ス

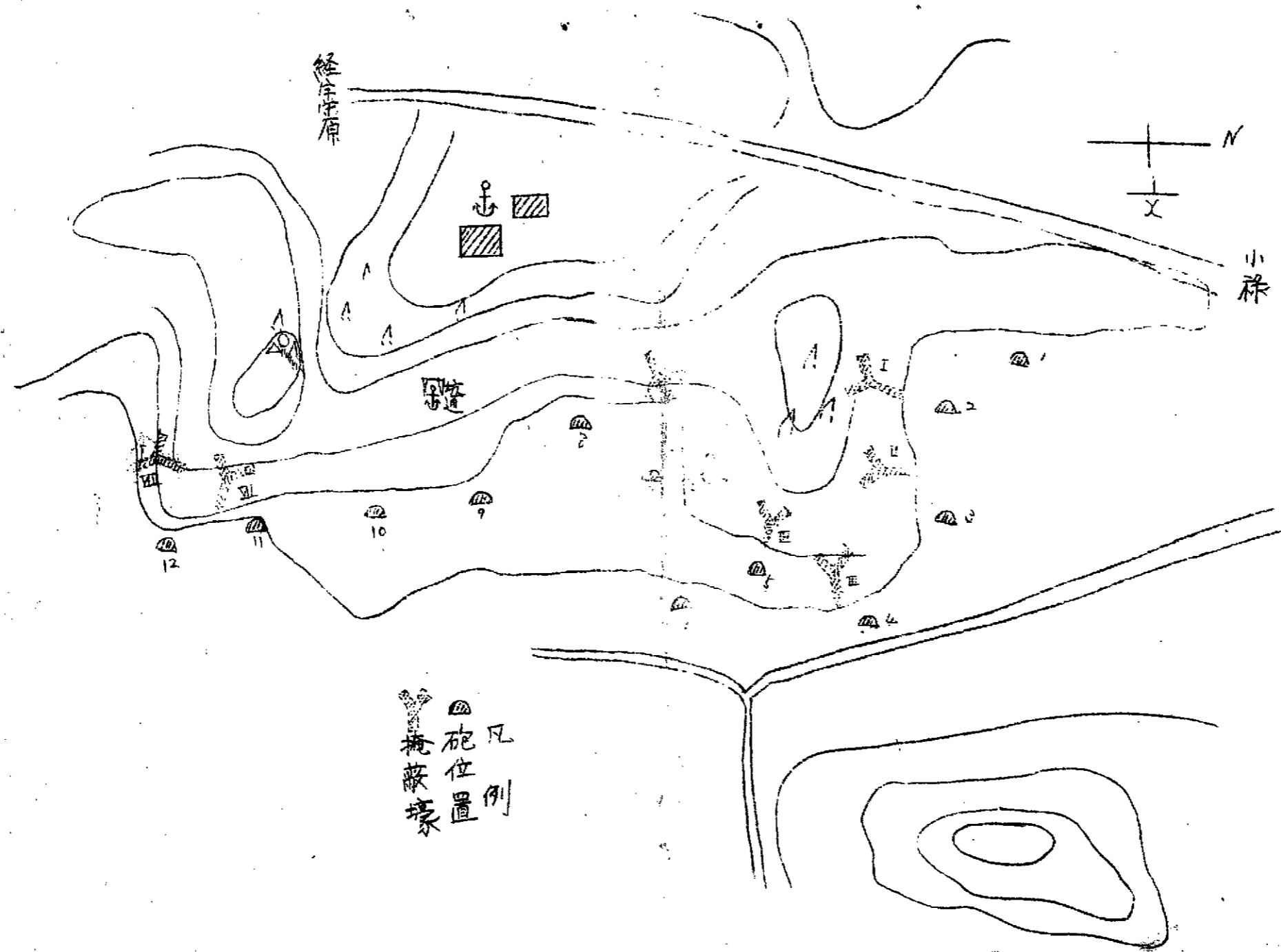
野戰一隊兵



小祿陣地作業計畫

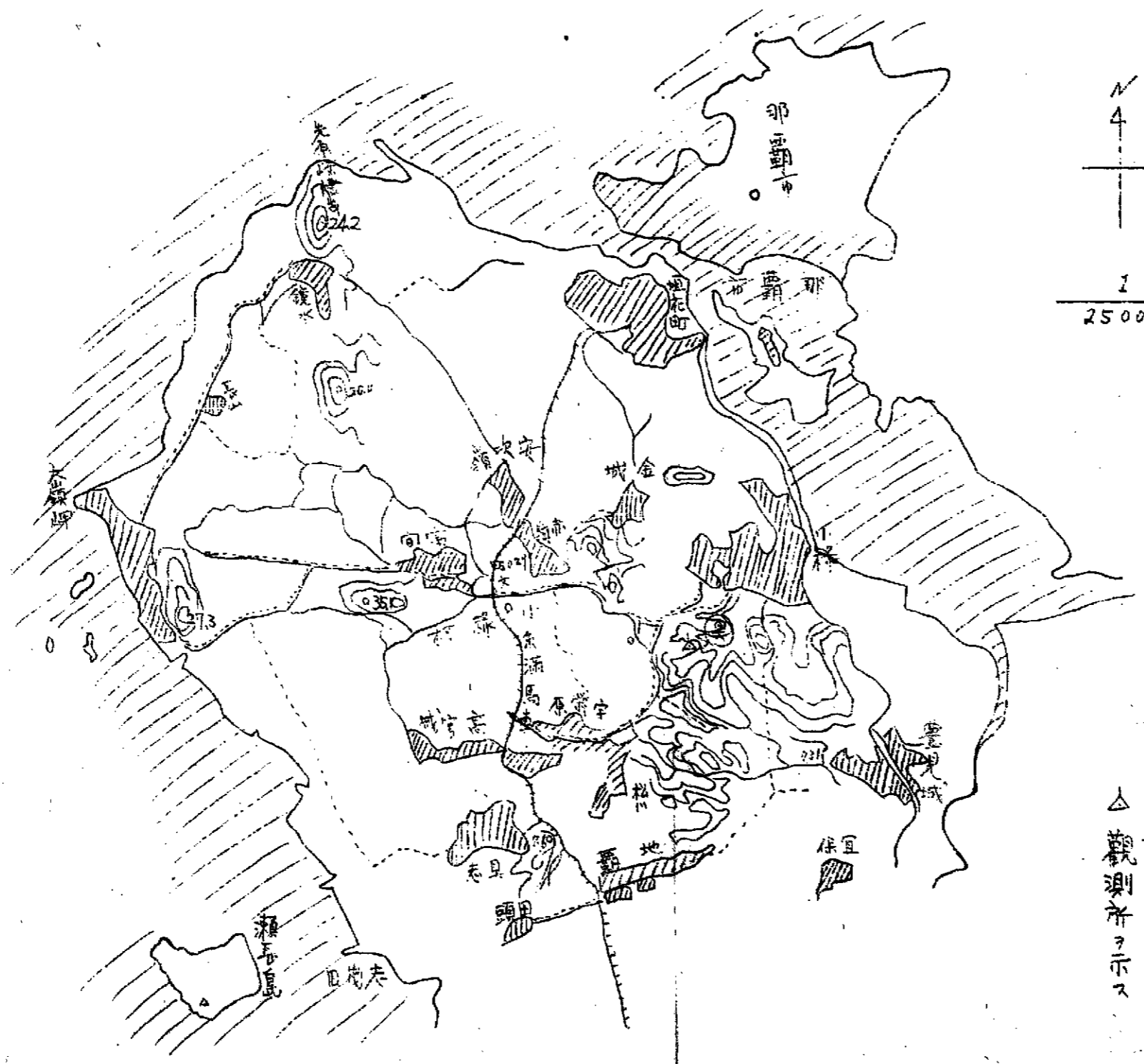
- 一 陣地配備要領、別圖、如左
- 二 陣地敷、野戰掩体、一、二、三、棲籠所、一、二、棲息所、八
- 三 偽裝、廿、廿、廿、廿、廿、以テ、察覺完成後、予ノ植付ヲ行フ
- 四 土質、細砂、混粘土質、ヲ、地、運、容易ナリ
- 五 作業部、署、二、關、ヲ、通、シ、作、命、申、第、九、号、細、部、指、示、ニ、ヨ、リ

小森陣地構或要圖



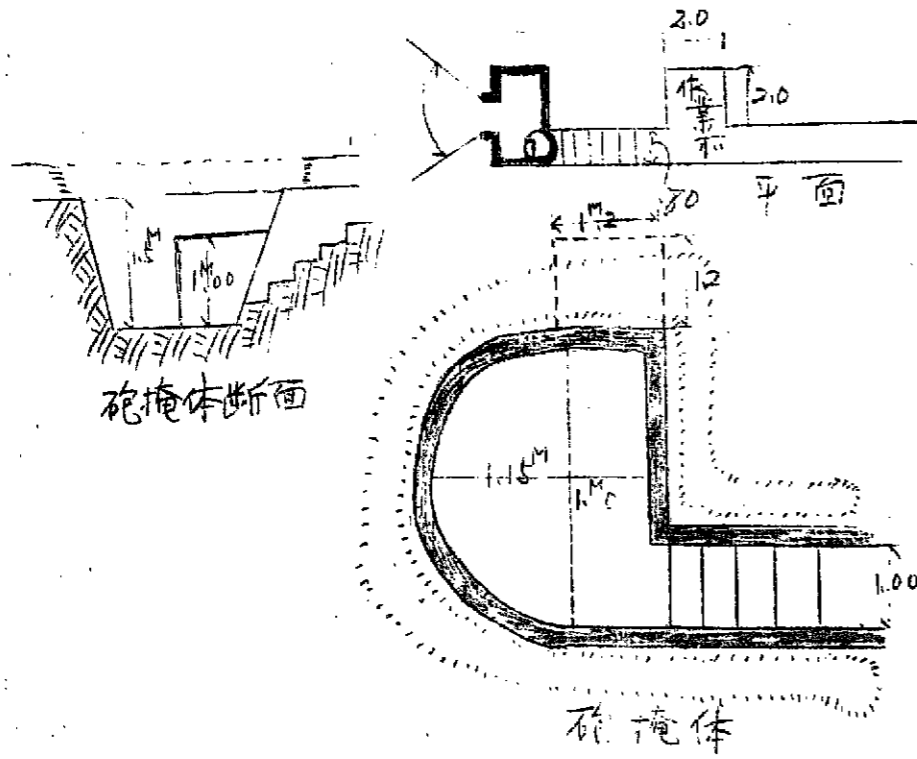
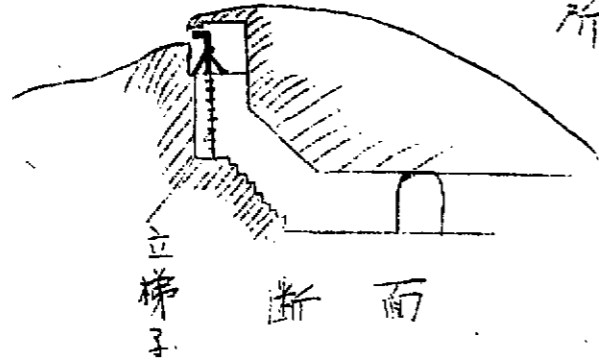
凡例  
 砲位置  
 掩蔽壕

小森陣地編成要圖



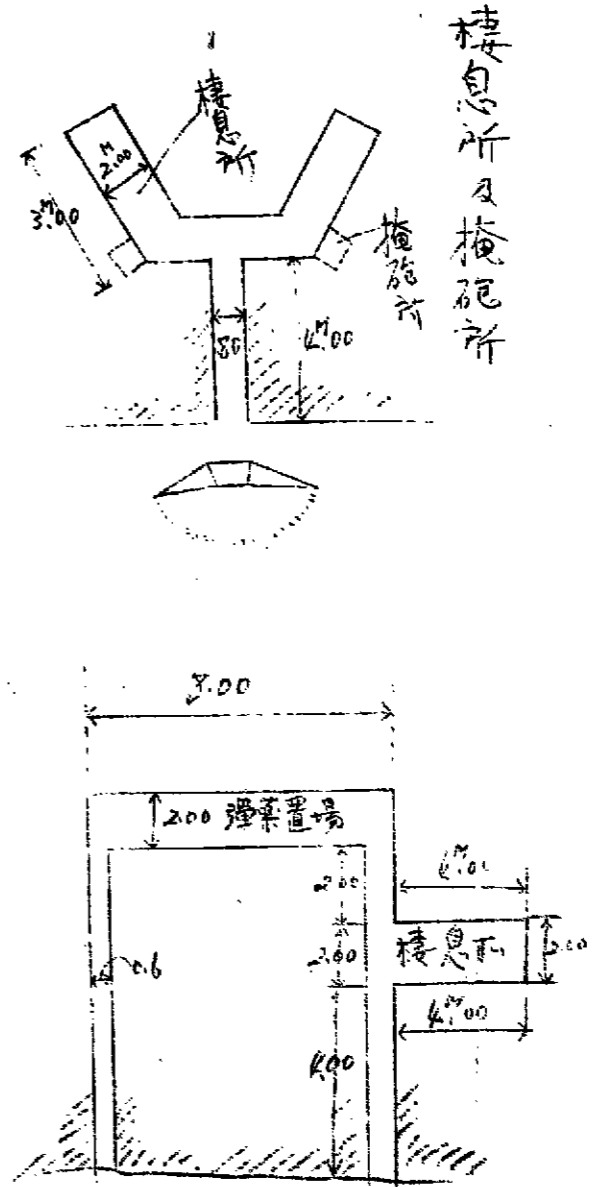
△ 観測点ヲ示ス  
○ 放送所ヲ示ス

觀測所

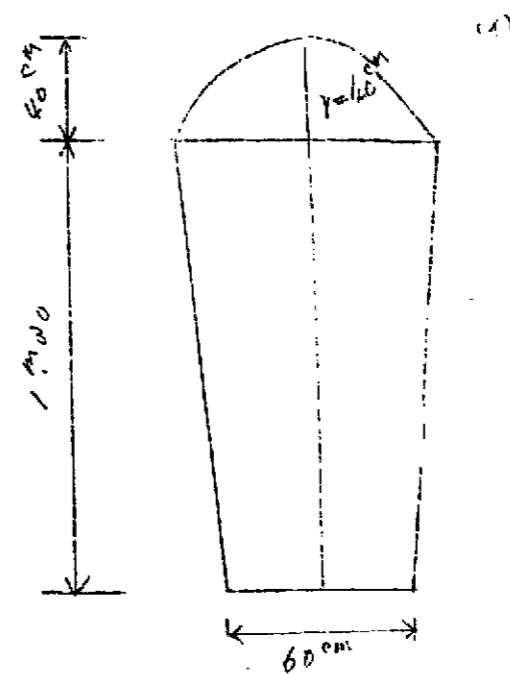
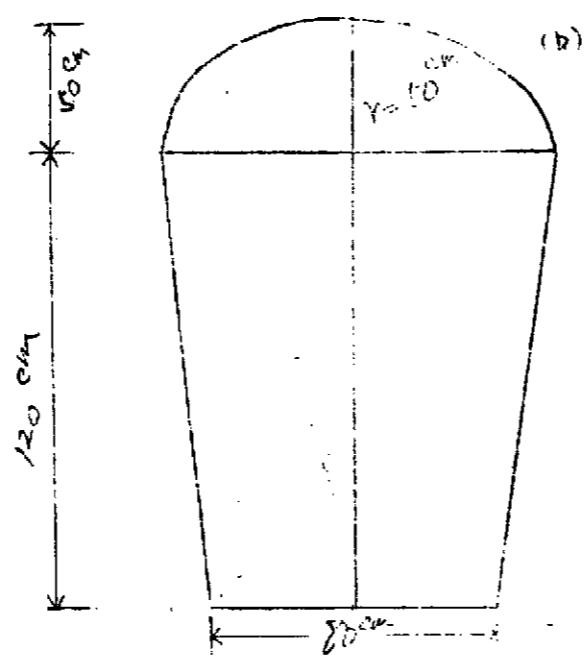
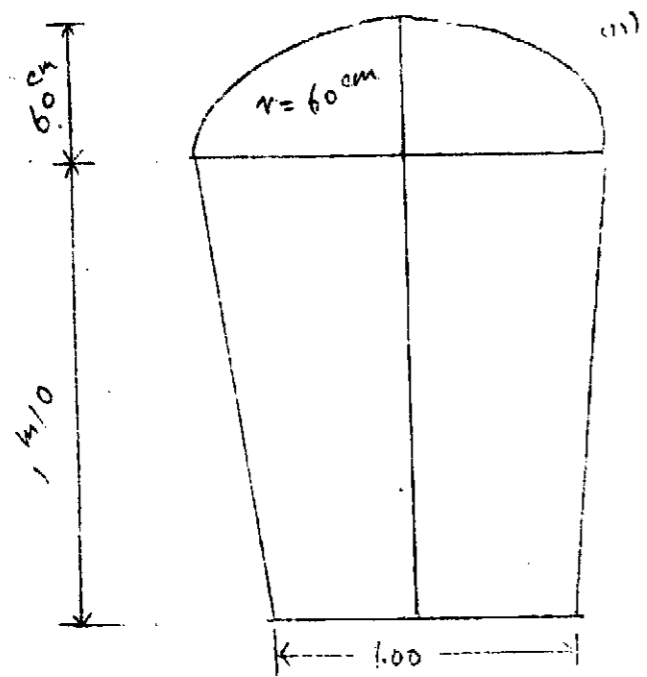


註 坑道高十及形狀別圖断面圖中心

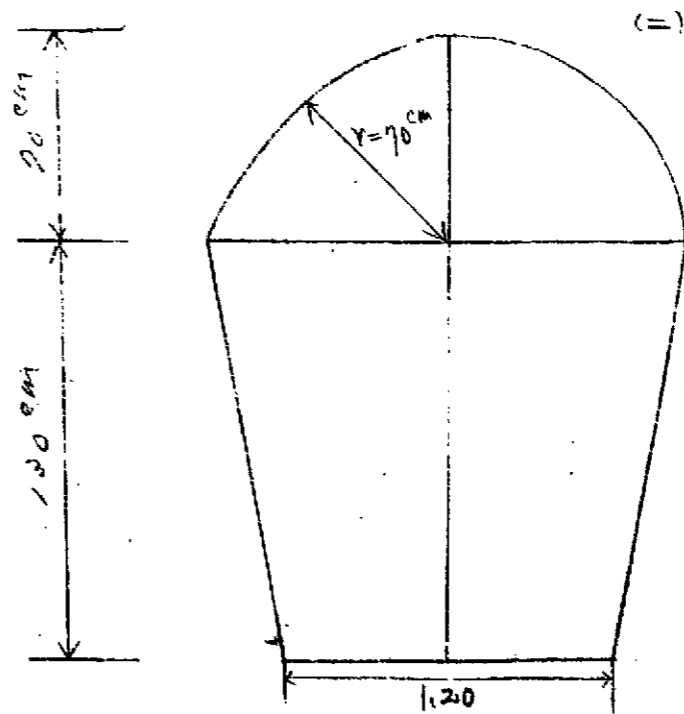
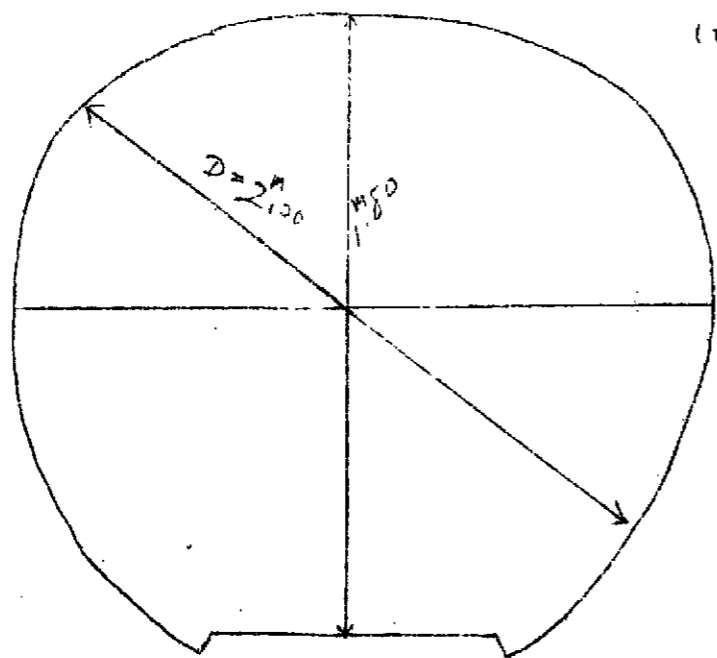
棲息所及彈藥置場



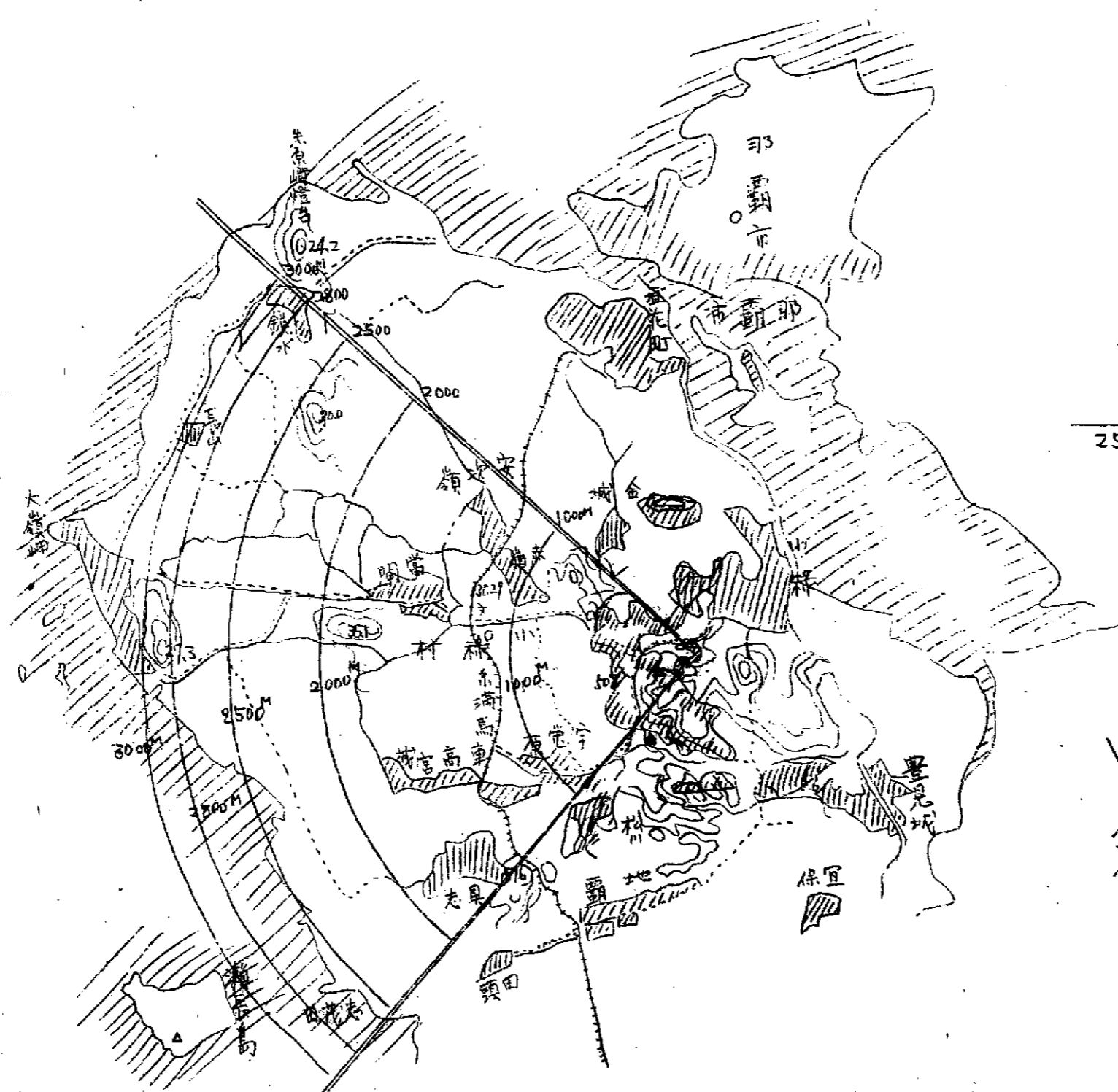
棲息所及掩砲所



坑道標準断面



小樽地視界射界要圖



○ 視界  
 V 射界

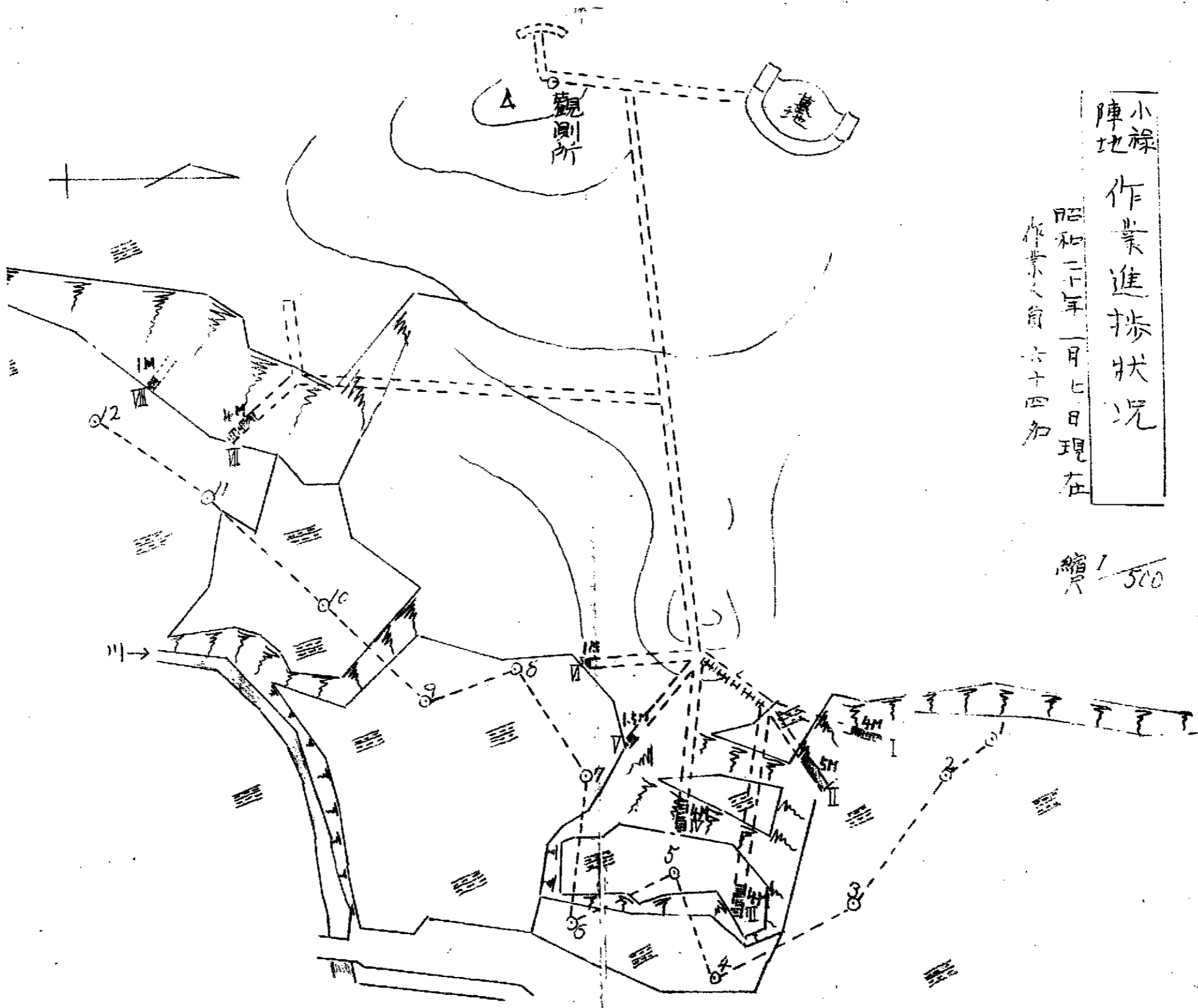


小祿陣地  
作業進捗状況

昭和二十年一月七日現在  
作業人員六十四名

縮尺 1/500

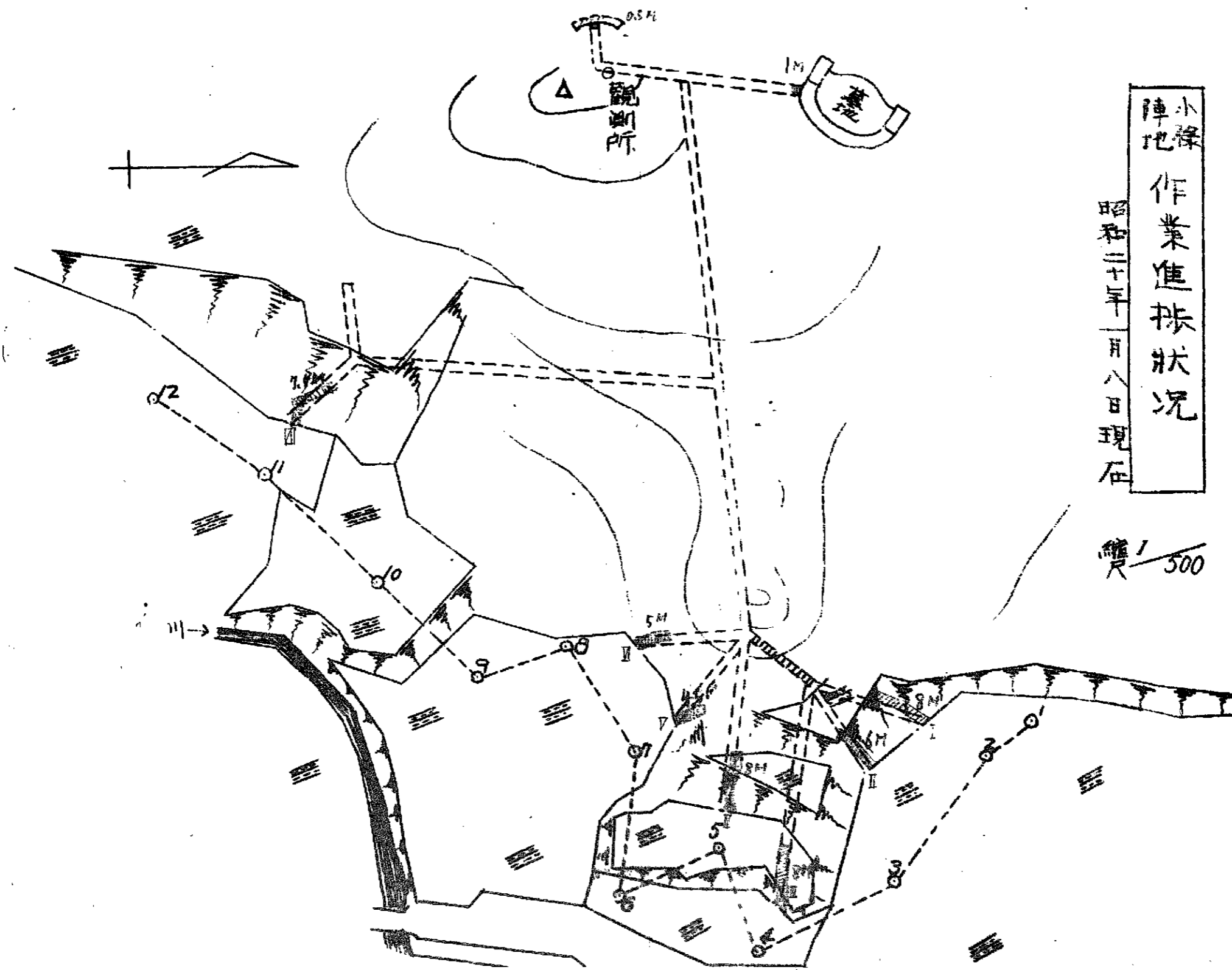
球第一二四二部隊



小隊陣地  
作業進捗状況

昭和二十年一月八日現在

縮尺 1/500



第一二四四号

一月八日  
月曜  
晴  
山  
祿

馬匹

鞍馬

九頭

迫撃隊第三大隊命令(迫撃隊命令甲第一三号)

一 大隊の迫撃隊命令甲第一三号陣地精進要領ニ

示ス。嘉敷、我如古附近の陣地ヲ偵察セントス

二 各中隊長の陣地偵察ノ爲明九日〇八時迄

ニ所要ノ人員ヲ伴ヒ小森東側ニ又路上ニ集

合スベシ

陣地偵察ノ細部ニ関シテハ現地ニ於テ示ス

独立迫撃隊第九中隊命令

一 中隊の迫撃隊命令甲第一三号ニ基キ明九日嘉敷

敷、我如古附近の陣地ヲ偵察セントス

陸軍少曹

小川富雄

同上等兵

柴川晴雄

右者余ノ隨行ヲ命ズ。依テ明九日〇七三〇

迄之出發準備ヲ完了スベシ  
 三陣地偵察ノ細部ニ関シテハ別ニ示ス  
 日直勤務

日直士官 村上准尉  
 同 下士官 河井軍曹

一第三七回大詔奉戴日ニ當リ中隊ハ一二〇〇ヨリ  
 小隊陣地ニ於テ詔書日奉讀式ヲ奉行ス  
 本日ノ小隊陣地構築作業人員並陣地構築  
 進捗状況別紙ノ通り

一〇六〇形野一等兵外八名ハ迫三作命兩第一号  
 二依一軍砲兵隊木材代指送輸送ノタメ球第九  
 七〇〇部隊ニ出張セシム

一本日大隊本部ヨリ左記被服ヲ受領ス  
 左記

冬襦袢 一四〇個  
 冬袴下 一四〇個

一南風原陸軍病院ニ入院中ノ尾崎一等兵本日  
 邊院復歸ス

本日ノ馬 將校三 准下一九 兵一〇九  
 馬匹 鞍馬 九頭

迫三作命第二大隊命令(迫三作命云第一八号)

一〇九〇〇ヨリ戰備下令セラル  
 二大隊ハ直ニ乙号戰備ニ移行セントス  
 三各隊ハ速ニ乙号戰備ノ態勢ニ移行スベシ  
 四對空監視哨ハ迫三作命日第十二号ニ基キ立  
 哨セシムヘシ  
 五給水城ハ依然續行スベシ  
 迫三作命第二大隊命令(迫三作命云第一九号)

署

月九日  
 火曜日  
 雨  
 涼

一〇三。乙号 戦備解除セラル

二各隊 丙号 戦備 能勢カニ 移行ス

三對空監視哨 依然 撤去セラル

一五三。丙号 戦備解除セラル

二各隊 一。二。三。戦備 能勢ニ 移行ス

三對空監視哨 撤去ス

日直 勸告

日直士官 松下 軍曹

同 下士官 近藤 伍長

對空監視哨 松野 上等兵

村崎 一等兵

樋上 一等兵

渡辺 一等兵

一〇八五〇 敵 戒 警 報 發 令 セ ラ ル

一〇九〇〇 沖繩島全地區ニ 對シ 空襲警報發令セラル

中隊 迫ニ 作人 甲 乙 第一 八号ニ 基キ 直ニ 乙号 戦備能勢ニ 移行ス

一〇三〇 乙号 戦備解除セラル 丙号 戦備能勢ニ 移行ス

一五三。敵 戒 警 報 解除

中隊 迫ニ 作人 乙 第一 二〇号ニ 基キ 丁号 戦備能勢ニ 移行ス

本日大隊本部ヨリ 左記ノ 通り 受領ス

左記

カイナイト 一箱

一〇八〇〇 野々口少尉 以下三名 迫ニ 作人 甲 第十三

記

一月十日  
水曜日  
曇  
小祿

寺ニ依リ嘉敷、我如百、陣此偵察ニ出張

一八〇。歸隊ス

本日ノ人員

騎兵ニ 直下一九、兵一〇九

馬匹

騎馬 九頭

日直士官

日直士官

村上准尉

同下士官

高野伍長

一本日小祿陣地構築作業進捗状況江作業

人員別紙ノ通り

一本日大隊本部ヨリ左記ノ通り受領ス

左記

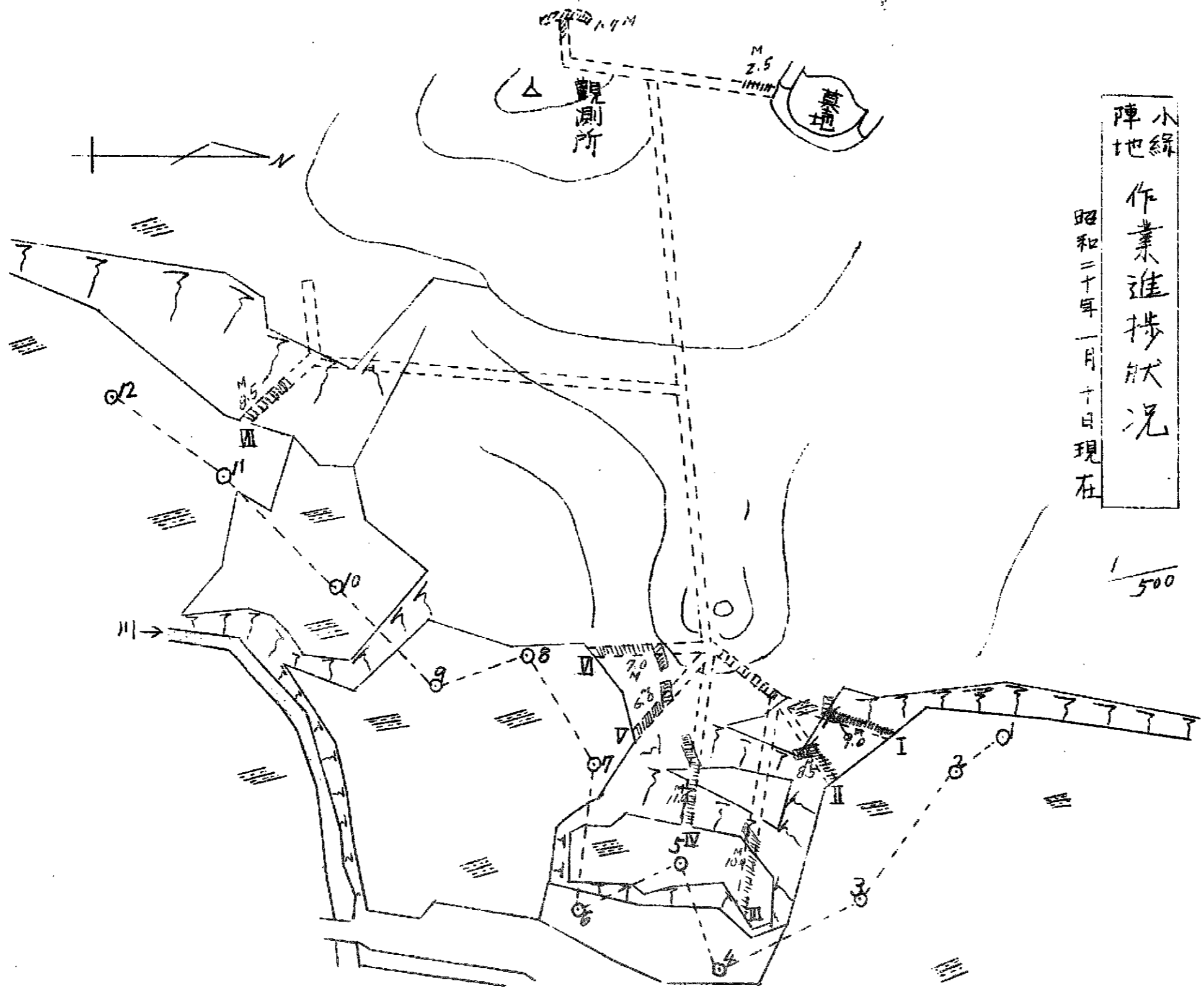
外十マイル

一七七個

衛生所見

個人衛生ノ強化ヲ計リ新患數減少ニ心カケリ

球第一二四二部隊



陣地  
小緑地  
作業進捗状況

昭和二十年一月十日現在

球第一三四二部隊

衛生所見  
衛生ノ強化ヲ計リ新患數減少ニシマシム

九記  
第一十マイト  
一七七個

醫

月十日

木曜日

雨

小祿

本日現在数入院患者八名 練兵休 五名

本日人員 將校三 准下一九 兵一〇九

馬匹 鞍馬 九頭

自擊第二大隊命令要旨(連夜命田第一〇号)

一大隊我如古 嘉敷陣地構築ノ爲 西原宜

野湾附近ニ移動セトス

二各隊 月十五日中ニ小祿陣地ヲ概成シタル

後 月十六日夕迄ニ中隊長ノ指揮ヲ以テ

西原宜野湾附近ニ移動ス

三各隊ヨリ設営ノ爲 將校一 所要ノ下士官

兵ヲ本十日一〇三〇迄ニ小祿東側三叉路上ニ

差出ス

四片山中尉 前項人員ヲ指揮シ西原附近ニ先

行シ宿営 給養其他ニ関シ関係部隊



ト連絡ニ任ズル

五移動ノ細部ニ関シテ別ニ示ス

独立迫撃隊第九中隊命令要旨

一中隊ハ道ニ依り甲第一四号ニ基テ我如古ノ嘉

敷陣地構築シテ西岸直野灣附近ニ

移動セリ

二田中軍曹以下五名ハ西岸直野灣附近

ニ設営シテ先ヲ行フベシ

依り本月十一日一〇三〇時ニ山嶽東側ニ又路上

ニ至リ片山中尉ノ指シテ受クベシ

三給養食ハ十一日晝夕食迄十五日迄現品ヲ携行ス

ハシ

日直勤務

日直士

松下軍曹

書

本月十一日

同下士官

梶岡伍長

月十一日

日直勤務

日直士官

村上准尉

山嶽

本日ノ小隊陣地構築進捗状況並作業人員

別紙ノ通り

本日ノ人員

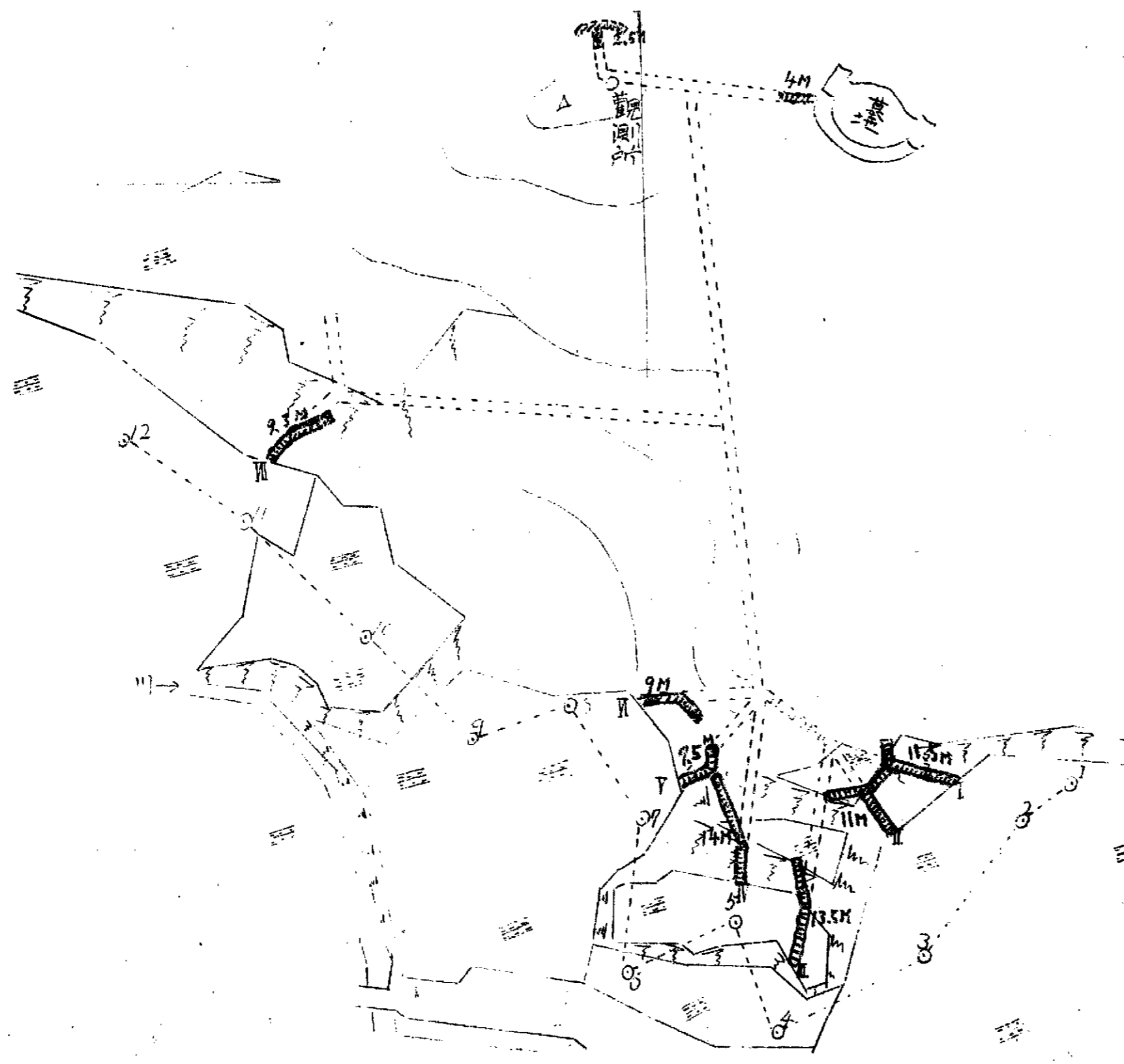
同下士官

千葉兵長

馬匹

馬

九頭



小綫  
陸地

陸軍進駐地

昭和二十一年一月十二日現在

球第一二四四二部隊

繪



日曜日  
雨  
山

日直士  
村上准尉

高  
小隊軍曹

一本目上隊陣地掃蕩中

進時

中隊ハタイナイトノ

手回しノ上ハ作業要員ノ破損甚クシクハフルニ

出張作業ニシテ其修理ニ天國部セシタノ備

築作業ハ作業開始當時ニ此ノ基ルシテ

持ツタキ 敵砲隊連射セリ本日迄ニ其ノ概成

ヲ見クンヌ 観測所陣地ハ抗道約ハ米ヲ作

成ニシテ

ヲ要ス

全日ニ中隊ノ道ニ命令甲第一四号ニ依リ成如

署

一月十五日  
月曜日  
川 禄

占草の敷地地構築多ク明後十日夕刻迄二回  
原、宜野湾、附近ニ移動セシムルヲ對砲隊各分  
隊ヨリ、應援ヲ得テ指揮非長以下全員徹宵  
作業ヲ續行シ其構築ニ満足シ其概成ヲ  
見ル判ル

陸軍一等兵 本原正次郎 病名未定ニ依リ疎  
縄陸軍病院ニ入院スル

本日ノ員 將校三、在下一九 兵一〇九  
馬七 輿馬 九頭

砲隊第一大隊 司令官 野田 砲二 係命 甲 第五号

一大隊 砲二 係命 甲 第九号 二基 陸地構築ノ  
夕ノ内 原、宜野湾、附近ニ陸揚スル

二大隊 別紙要圖ノ如ク陸揚スル

三各隊 砲隊日直將校(陸揚日直將校 常務)



米況別紙

一 米價 陸軍司令部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

陸軍部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

陸軍部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

陸軍部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

陸軍部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

陸軍部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

陸軍部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

陸軍部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

陸軍部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

陸軍部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

陸軍部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

陸軍部 第一〇号 昭和 米如 百 米數

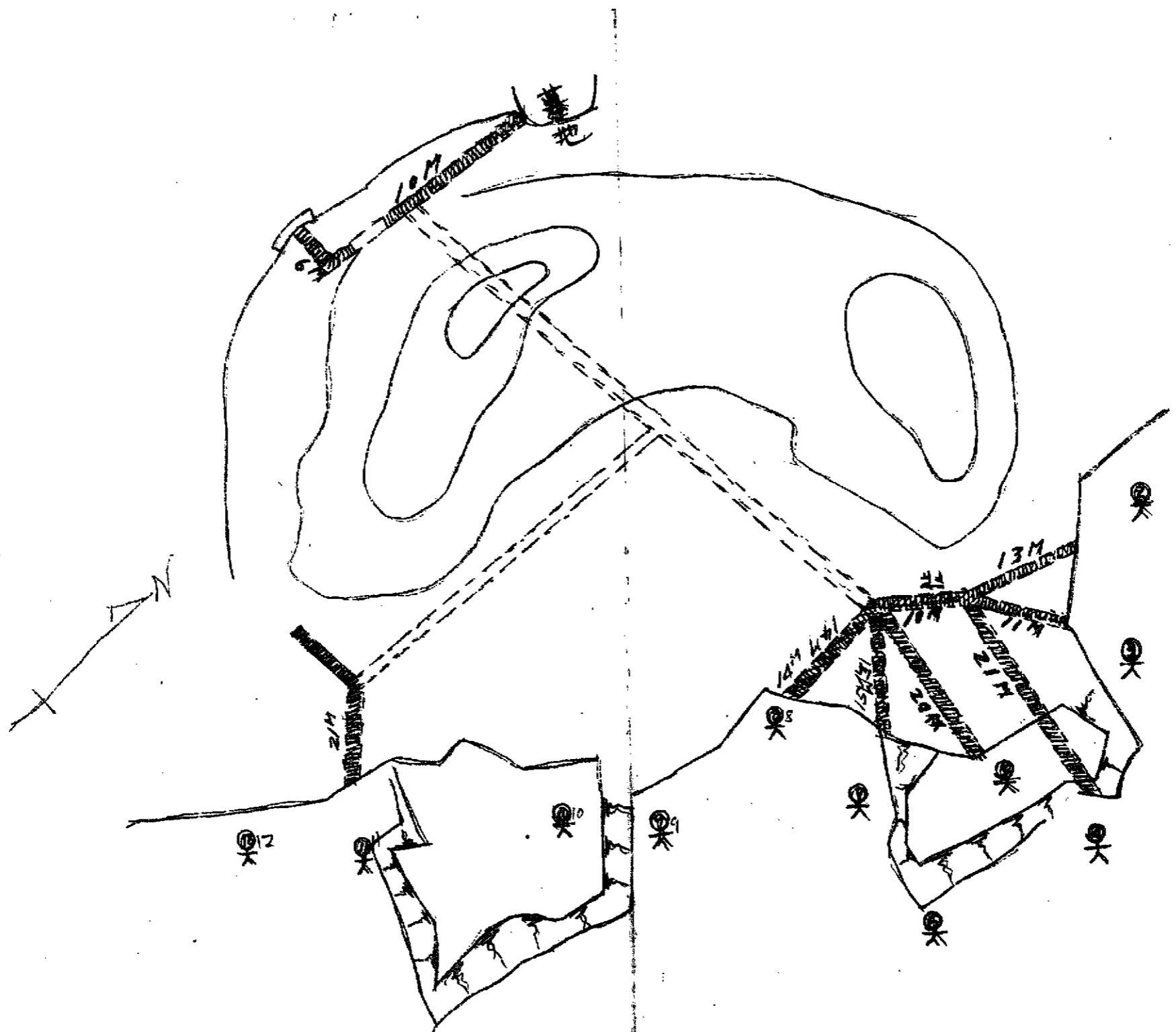
小緑陣地進捗状況

球第一三四二号

一 官署間部隊内務暫定規定

軍隊内務令註小緑宿管間内務暫定規定

依心外死通一定A



小祿陣地進捗状況

昭和二十年一月十七日現在

球第一三四四二并隊

進捗量ヲ示ス

軍隊内務令註小祿宿管間内務暫定規定ニ  
依ル外凡通一規定



要

月十六日

水曜日

曇

常山

警報發令ニ付ル處置

時態急ヲ要スル場合、ラッパ(カ)音三声ヲ吹奏

各兵ハ完全全軍裝ヲナシ、公人會堂前廣場

ニ速ニ集合スルニ、其他警報發令ノ際

ハ別命ス

本日ノ人員 將校三、准下一九、兵一〇九

馬匹 魏馬 九頭

迫撃隊第二大隊命令(迫撃隊内第三号)

一 國頭部(嶺附近)ニ於テ目下傳染病散發ノ

兆アリ

二 軍砲兵隊ニ偵察隊及輸送隊ノ防疫ヲ強化ス

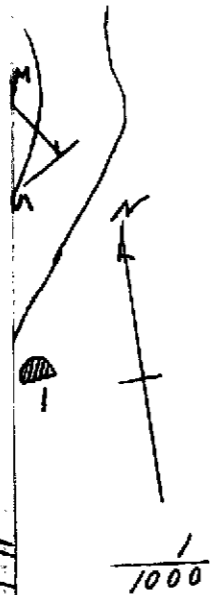
三 大隊ハ軍砲兵ノ防疫強化ニ協化セントス

四 第九中隊長ハ福本衛生伍長ヲ明十八日〇九

〇〇迄ニ首里第一中學校内第五砲兵司令部



我如古陣地構成西圖

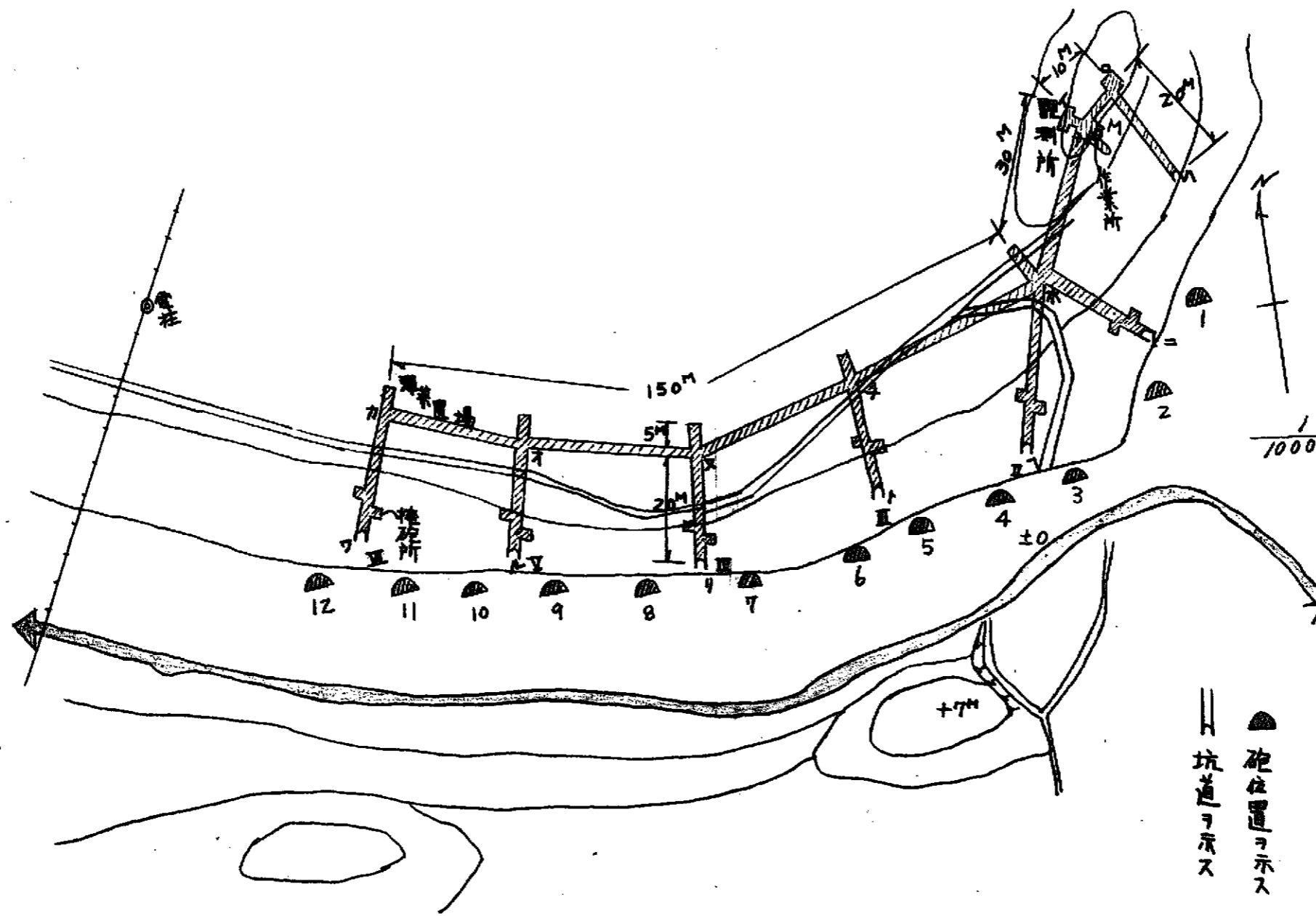


球第一二四四二部隊

砲位置ヲ示ス



我如古陣地構成西之圖



球第一二三四部隊

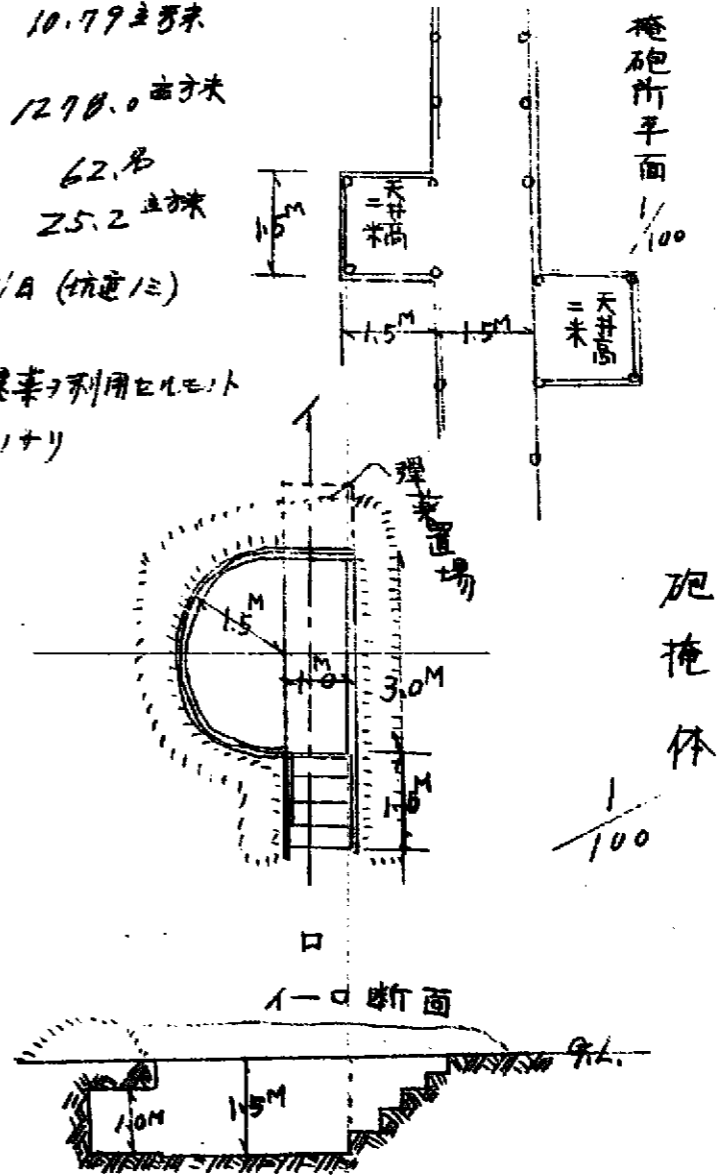


註  
 1. 観測所ヲ除ク各横坑道ノ長サ、巾等ハ同型式トス  
 2. 各坑道中軟質土部ノミ框組トス  
 3. 作業進度ハ概ネ一日ト見做第一回作業期間於テハ観測所掩砲所  
 砲掩体ヲ完成スル如ク計画ス

坑道		
直柱	15 × 210 × 200	
頂材	15 × 120 × 560	
天側梁材	9 × 210 × 900	
計		1740本
観測所及作業所		
直材	15 × 210 × 22	
頂材	15 × 210 × 7	
天側梁材	9 × 210 × 240	
計		269本
彈薬置場	5M × 5	25M
イ一口		10M
ロ一ハ		20M
イ一ホ		30M
ホ一ニ		20M
ホ一ヘ		20M
ト一キ		20M
リ一ヌ		20M
ル一オ		20M
ワ一カ		20M
ホ一キ		45M
キ一ヌ		35M
ヌ一オ		40M
オ一カ		30M
全長		355M

掘出土量  
 砲掩体 1用 10.79立米  
 坑道式交通壕 全長 1270.0立米  
 一日作業人員 62名  
 一日掘出土量 25.2立米  
 所要日数 5/A (坑道13)

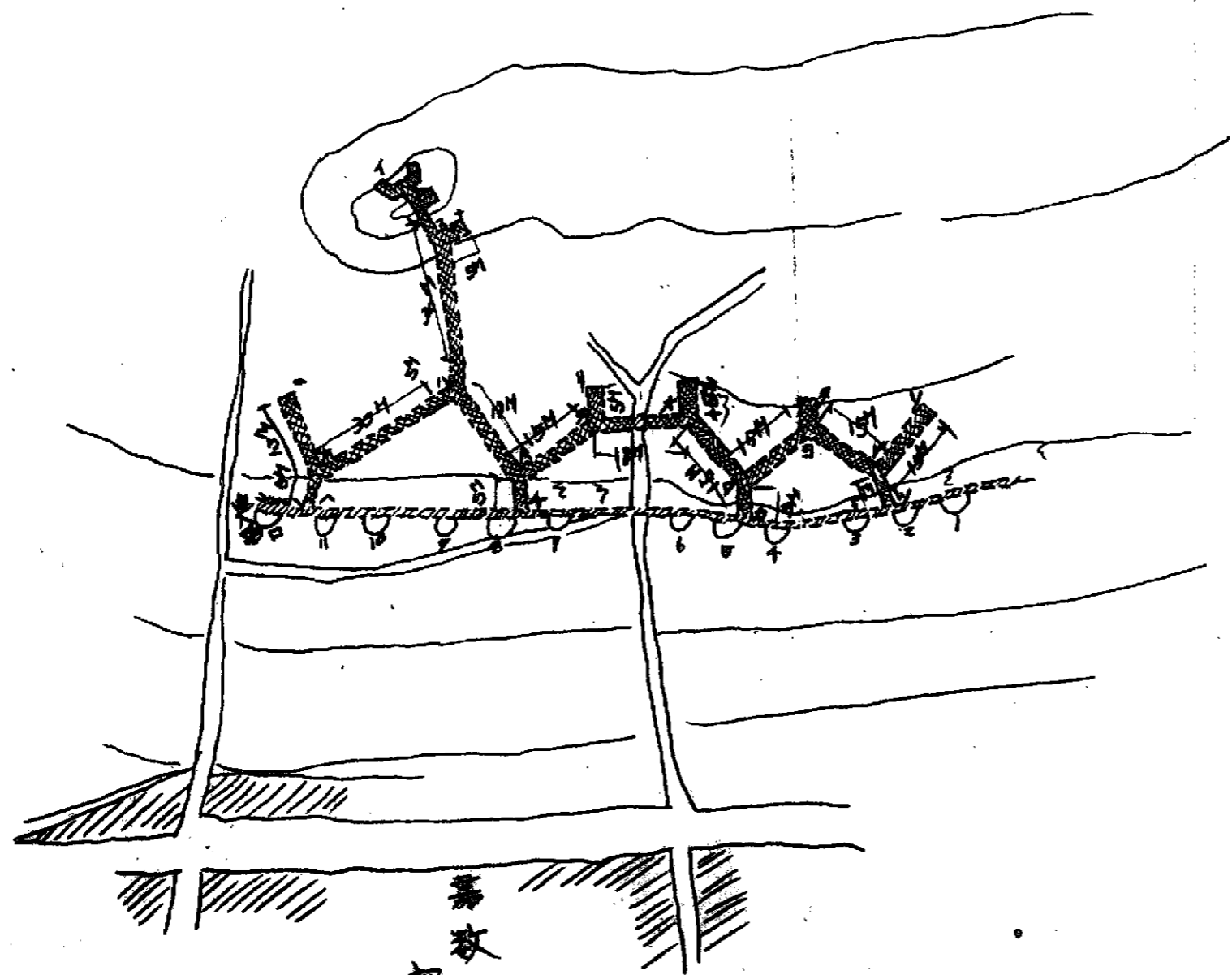
註  
 一日ノ作業量ハ爆薬ヲ利用セルモト  
 見做計算セルモノナリ



掩砲所平面  
 1/100

砲掩体  
 1/100

嘉数陣地要圖



嘉数  
部  
落

隊  
第  
二  
四  
二  
部  
隊

隊  
第  
二  
四  
二  
部  
隊

資材補給及工具修理三團第一大隊本部ヲ經テ之ヲ實施ス

作業順序 掩蔽所 觀測所 砲掩体 掩蔽部

作業期日 昭和三十二年一月三十一日

資材  
 彈丸 一三  
 大字銃 一六  
 石鑿 一  
 小一  
 爆破用鑿 三組  
 五組

作業人員 將校 一 下士官 二 兵 四 名

觀測所  
 直柱 15 x 210 x 24  
 項材 15 x 150 x 12

坑道  
 直柱 15 x 210 x 680  
 項材 15 x 150 x 340

交通壕 掩覆板  
 9 x 150 x 1500

側板 項板 1代用ト丸太ヲ使用ス  
 9 x 210 x 9385

總所需材

15 x 210 x 904 } 1016本  
 15 x 150 x 312 }

9 x 210 x 9385 } 10885本  
 9 x 150 x 1500 }

總掘土量  
 1371.4 M<sup>3</sup>

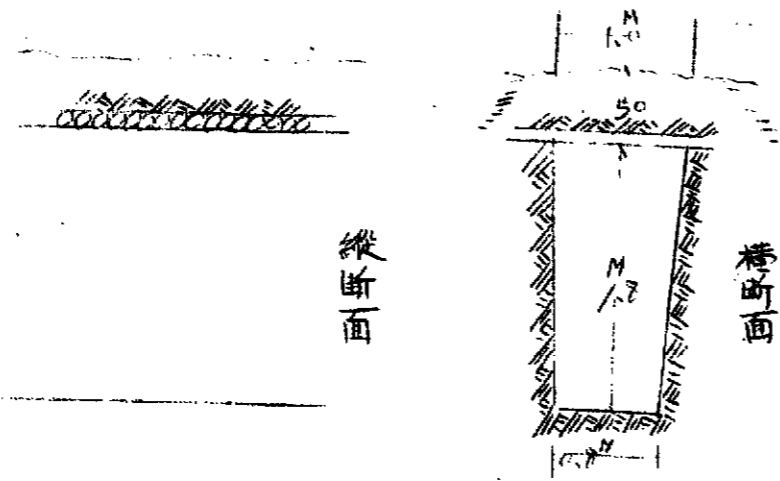
日作業人員  
 40名

日平均掘土量  
 9.72 M<sup>3</sup>

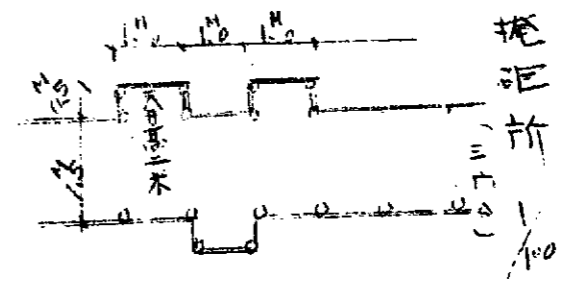
所要日數  
 142日

所要人員  
 5680人 時





交通壕 1/50

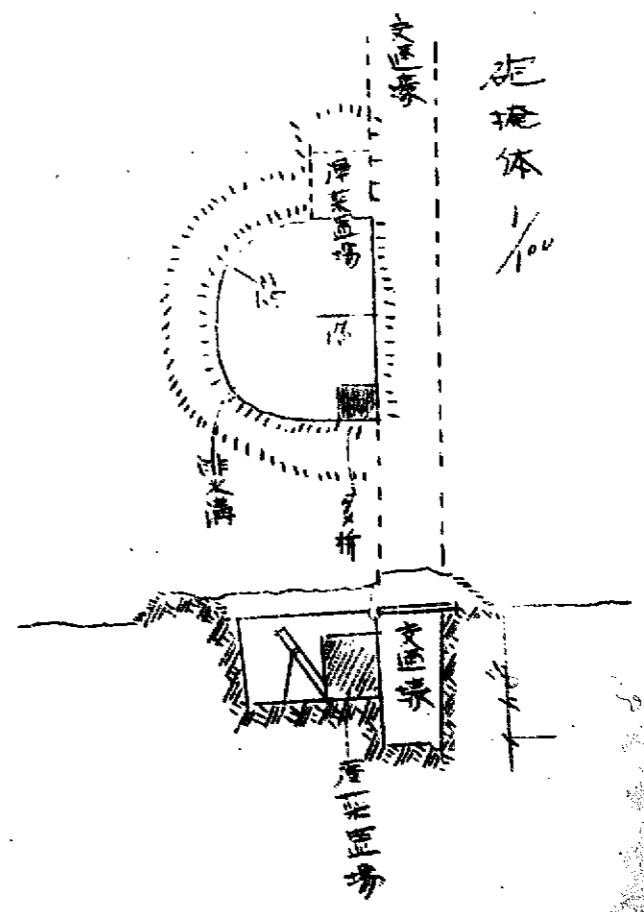


掩体所 1/100

掘土量  
 坑道  $3 \times 3.26 = 9.78 \text{ M}^3$   
 観測所  $2.8 \text{ M}^3$   
 交通壕  $1.45 \text{ (全長)}$   
 $1.62 \text{ M} \times 1.45 \text{ M} = 2.349 \text{ M}^3$   
 砲掩体 1門  
 $11.15 \text{ M}^2$   
 $11.15 \times 12 = 133.8 \text{ M}^3$

総掘土量  
 坑道  $9.78 \text{ M}^3$   
 △  $2.8 \text{ M}^3$   
 交通壕  $2.349$   
 砲掩体  $133.5$   
 計  $1371.4 \text{ M}^3$

口-ハ	30
ニ-ホ	15
ホ-ハ	5
ホ-ハ	30
ハ-ト	18
ト-ク	5
ト-又	15
又-リ	5
又-オ	18
ル-オ	5
オ-▽	15
▽-ヨ	15
ク-ヨ	
ク-レ	15
▽-カ	5
レ-ツ	5
レ-ソ	15
ホ-十	5
<hr/>	
	3267



砲掩体 1/100

要目

月十八日  
本曜日  
晴  
當山

本日の人員 將校三 准下一九 兵一七

馬匹 製馬 九頭

日直勤務

日直士官 村上准尉

同 同士官 梶岡伍長

〇七三。野台の中等以下五十四名陣地構築ノ又

ノ路路當地出發一七三。歸隊ス

迫二作命一川第三号ニ基キ陸軍衛生伍長

福本一馬ヲ備給ス陸隊所發要員トシテ球

第九七。部隊ニ出張セシム

一六隊本部ヨリ左記馬具及兵器各ヲ發

領ス

左記

三八式騎重觀馬具 四組



